

認知症マフ報告交流会



認知症ケアで使われる筒状のニット『認知症マフ』

手を入れた時の温かな感触や中の飾りを握ったり掴んだりすることで、点滴針を抜く行為や、ベッド柵を掴みガタガタ動かす行為が止まり、ホッと落ち着くという報告があります。

編み物が得意な方や好きな方、手編みのマフと一緒に作りませんか。

個人でもグループでも、空いている時間を使って編み物でボランティアして頂ける方を募集中です。(※シニアボランティアポイントの対象となります)

横浜総合病院にて認知症マフを取り入れており、大場地域ケアプラザが窓口となって定期的にマフをお届けする長期的な支援を行っています。

※「認知症マフ」報告会＆交流会※

日時：令和6年9月26日(木) 13:30～15:00

場所：横浜市大場地域ケアプラザ 多目的ホール

※お電話または窓口にてご予約ください

内容：病院での「認知症マフ」活用の様

認知症マフを活用する中で感じる事

作品を持ち寄り、実際に編みながらの交流会 など

※編み図等は認知症マフ作り方で検索！地域福祉活動を支援しておられる朝日新聞厚生文化事業団のHPを参考にしています。



大場地域ケアプラザ
ホームページ



地域ケアルーム
ボランティアルームでは
15時以降もご利用いただけます。
是非、皆さんで編み物をしたり、
おしゃべりをしたり交流してください。

お問い合わせ先

横浜市大場地域ケアプラザ
地域活動交流 熊谷

横浜市青葉区大場町 383-3

TEL 045-975-0200

<http://www.hama-wel.or.jp/office/ooba/>

あざみ野駅より東急バス

②番乗り場 (71・72 系統) から乗車

